



# 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり ～富山市のLRTをはじめとした公共交通活性化の取り組み～

富山市副市長 中村 純



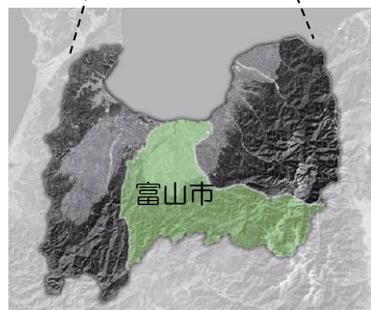
# 富山市の概要

- ・人口は、富山県全体の約4割(421,953人 H22国勢調査)
- ・面積は、富山県全体の約3割(1,241.77km<sup>2</sup>)
- ・海拔0m(富山湾)から2,986m(水晶岳)までの多様な地形
- ・平成27年度一般会計予算額 約1,682億円

■日本地図



■富山県全図



立山あおぐ特等席。富山市

北陸新幹線(平成27年3月14日 開業)

富山駅上空からみた富山市の市街地

# 富山を象徴するLRTのある風景



# 富山市の公共交通網 ～鉄軌道及び路線バス～

富山駅を中心に放射状のネットワークを形成している

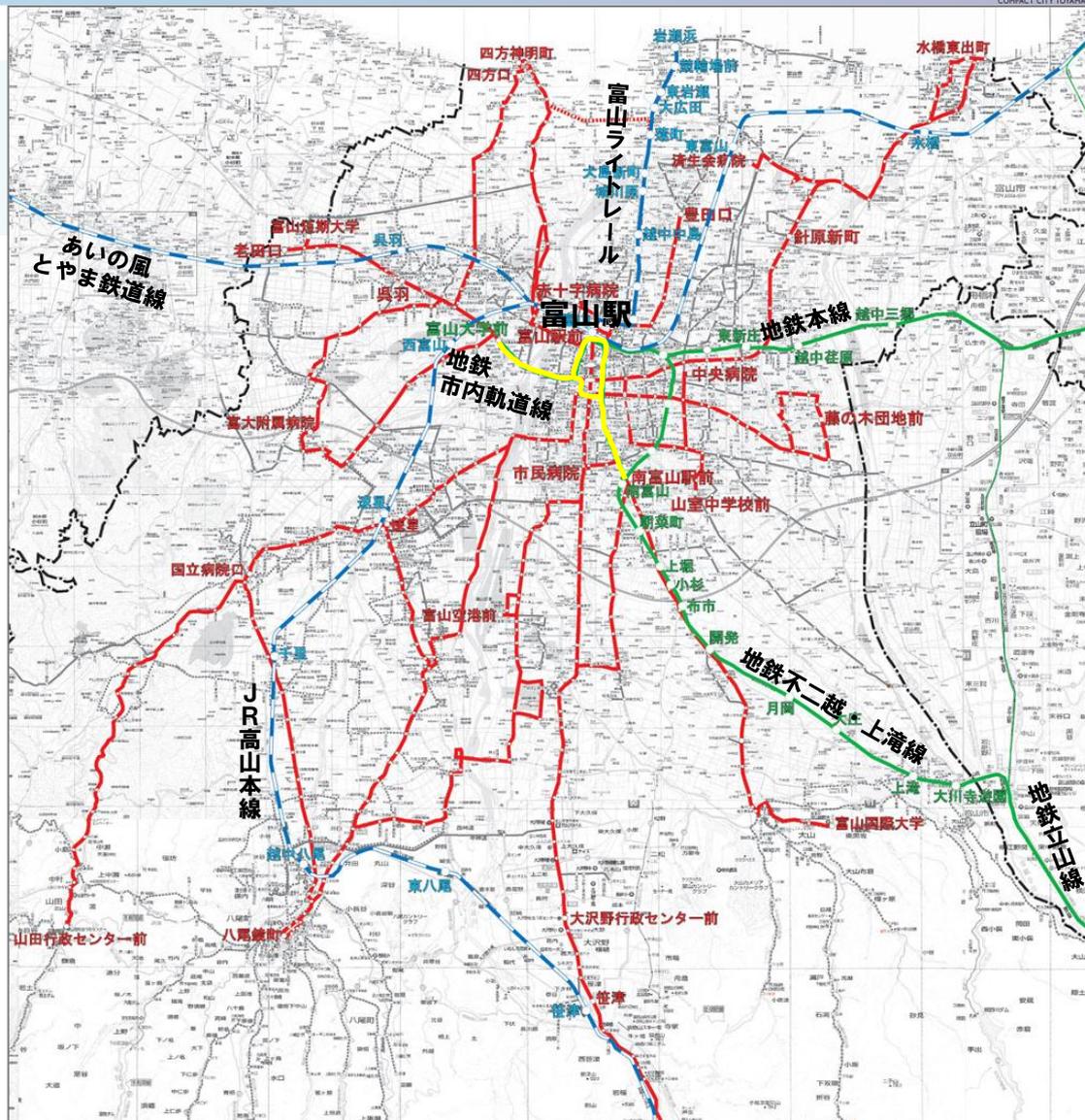
## ■鉄軌道(7路線)

- ・北陸新幹線
- ・あいの風とやま鉄道線 (並行在来線)
- ・JR高山本線
- ・地鉄本線・立山線
- ・地鉄不二越・上滝線
- ・地鉄市内軌道線 (環状線含)
- ・富山ライトレール

## ■路線バス

- ・富山地方鉄道(株)が運行するものを中心に約100系統の路線

	JR、あいの風とやま鉄道
	富山地方鉄道 (鉄道)
	富山地方鉄道 (軌道)
	富山ライトレール
	主要バス路線



# 富山市のまちづくりの基本方針 ～コンパクトなまちづくり～

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

## ＜概念図＞

### 富山市が目指すお団子と串の都市構造

**串** : 一定水準以上のサービスレベルの公共交通

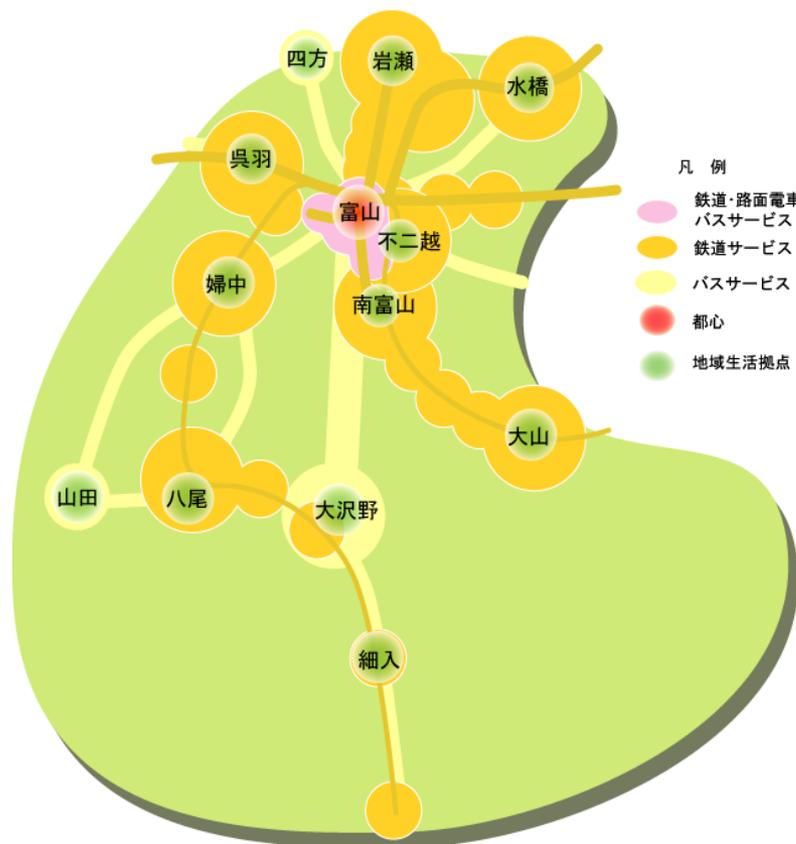
**お団子**: 串で結ばれた徒歩圏

## ＜実現するための3本柱＞

①公共交通の活性化

②公共交通沿線地区への居住推進

③中心市街地の活性化



# 富山ライトレールの整備 ～JR富山港線のLRT化～

利用者の減少が続いていたJR富山港線（鉄道）を**公設民営**の考え方を導入し、**日本初の本格的LRTシステム**に蘇らせた取り組み

## <路線概要>

- 開業日：平成18年4月29日
- 延業長：7.6km  
(鉄道区間6.5km、軌道区間1.1km)
- 電停数：13
- 車両数：7編成(2両1編成)
- 所要時間：約25分(富山駅北ー岩瀬浜)

## <運行サービスの向上等>

運行間隔の改善、新駅の設置、低床車両の導入、バリアフリー化、ICカードの採用、アテンダントの配置 等

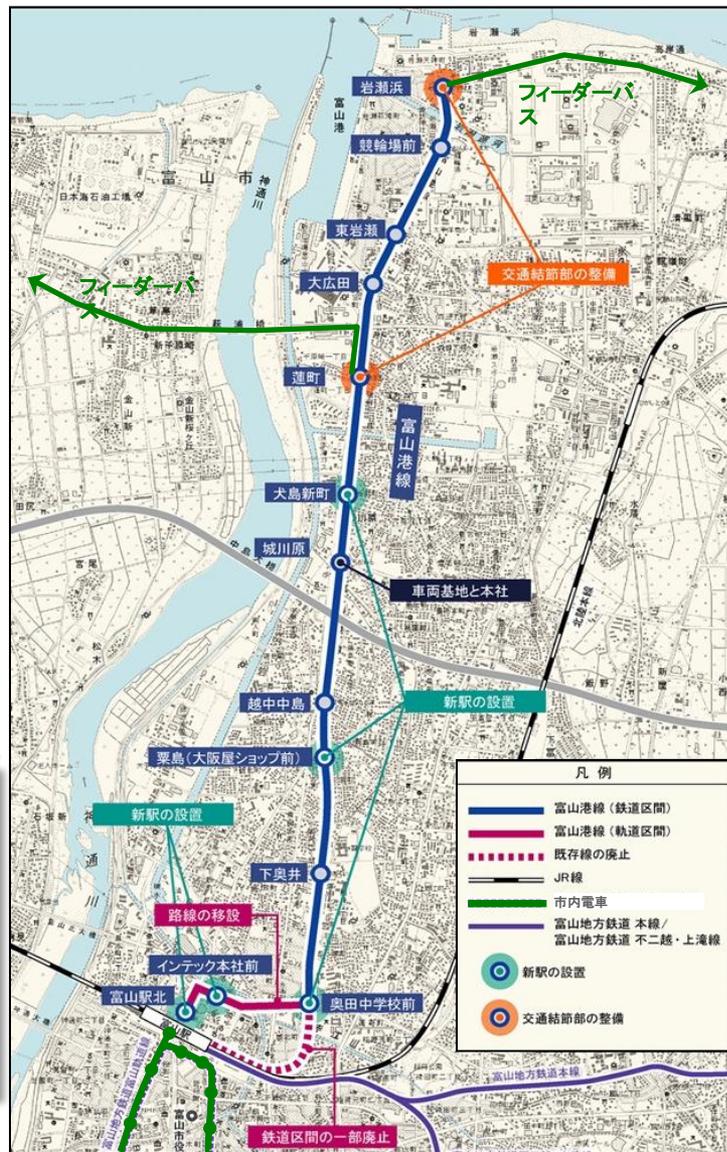
**日本初の本格的LRTとして再生**



▲旧JR富山港線



▲富山ライトレール  
(愛称ポートルム)



# 富山ライトレールの整備 ～富山ライトレールの走行風景～



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

## ■ 軌道区間(都市計画道路綾田北代線)



## ■ 鉄道区間(蓮町駅)



# 富山ライトレールの整備概要



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

## ■ 運行サービスの向上

	旧JR富山港線		富山ライトレール
運行間隔	30～60分	→	15分 (ラッシュ時は10分)
始発・終電	5時台・21時台	→	5時台・23時台
駅数	9駅 (富山駅除く)	→	13電停
車両	鉄道車両	→	全低床車両

運賃は200円均一制に。

## ■ 車両の低床化と電停のバリアフリー化



## ■ アテンダントの配置(H22.8～)



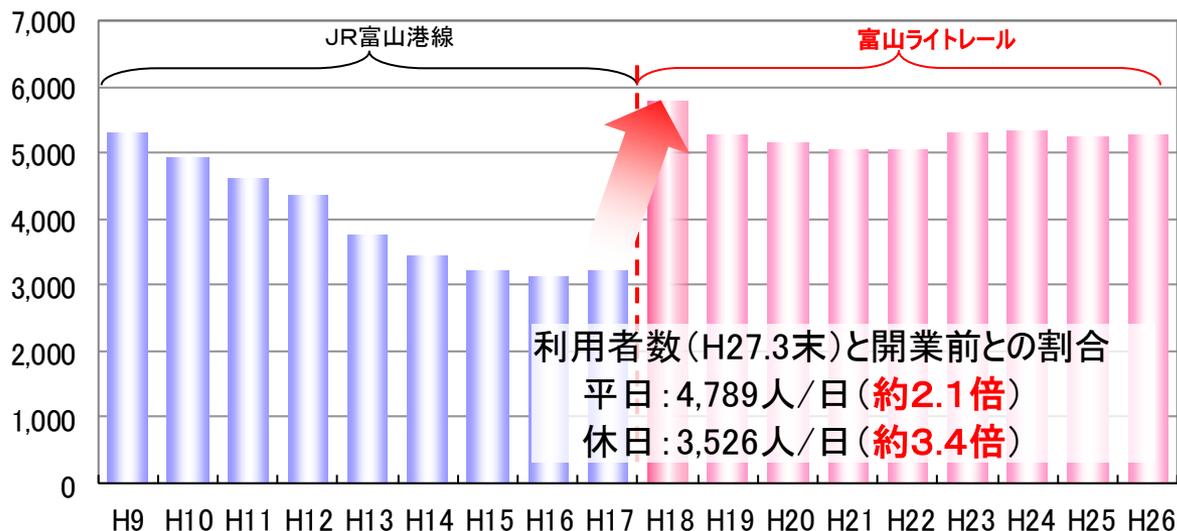
## ■ フィーダーバスの運行



# 富山ライトレール(ポートラム)の整備効果

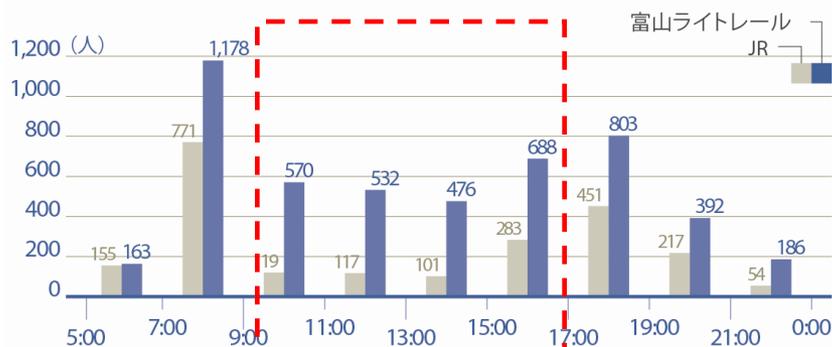
H18. 4. 29開業

■開業前と比較して、利用者数が平日で約2.1倍、休日で約3.4倍へと大幅に増加

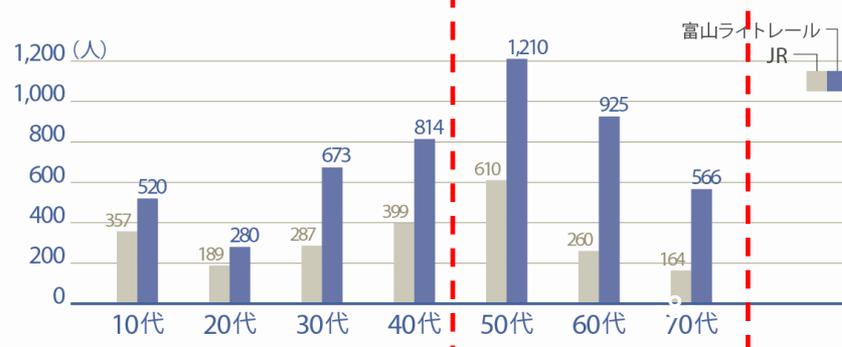


■日中の高齢者の利用が増加(ライフスタイルの変化)

1日あたり 時間帯別の利用者数の変化(平日)



1日あたり 年代別の利用者数の変化(平日)



# 市内電車環状線化事業 ～セントラムの整備～

中心市街地活性化と都心地区の回遊性の強化を目的に、市内電車を一部延伸

- ・日本初の**上下分離方式**の導入
- ・魅力ある**都市景観**の構築に向けた道路空間との一体的な整備

## <路線概要>

- 開業日：平成21年12月23日
- 延長：約0.9km（環状線区間約3.4km）
- 電停：延伸区間に3箇所新設
- 車両：新型低床車両を3編成導入



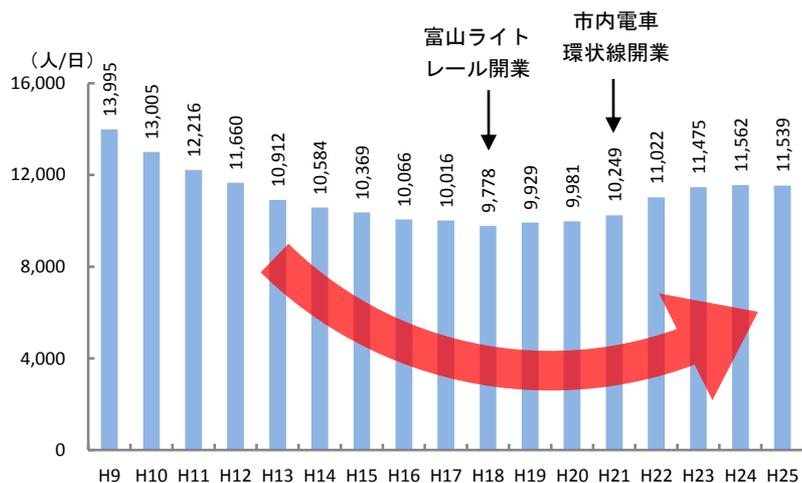
▲市内電車環状線(愛称:セントラム)

# 市内電車環状線化事業の整備効果

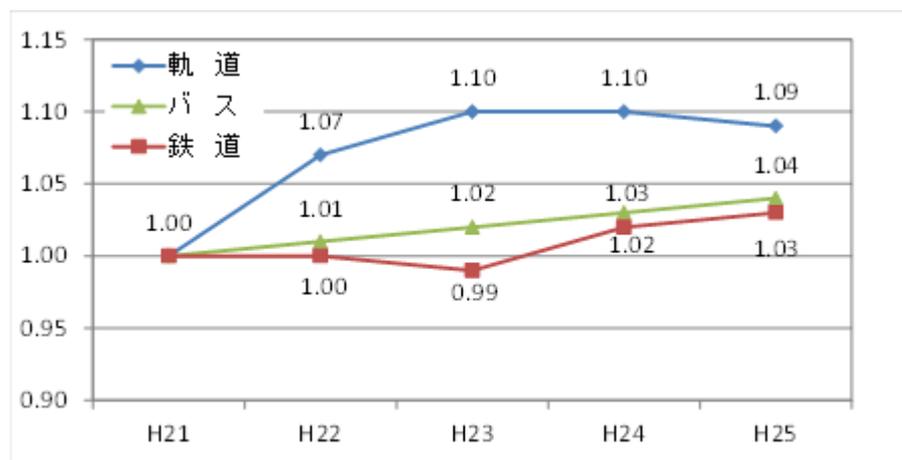
## <市民のモビリティの向上>

- ・環状線の開業に伴い**市内電車全体の利用者が増加**している。
- ・鉄道、バスについても**微増傾向がみられ、市内電車の利用者増加や利用者意識の変化が公共交通全体の活性化**につながっている。

【市内電車・1日当り乗車人数の推移】



【公共交通の旅客収入の変化】



H21を1.00とした数値

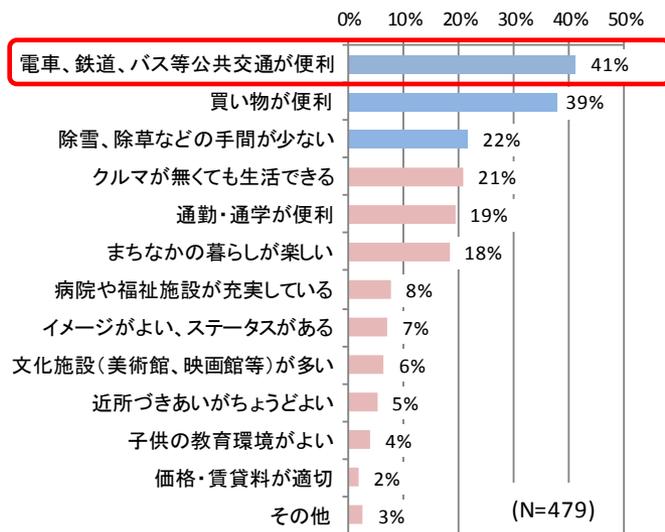
注：富山地方鉄道㈱の有価証券報告書に記載の旅客収入を基に算出

# 市内電車環状線化事業の整備効果

## <沿線居住の推進>

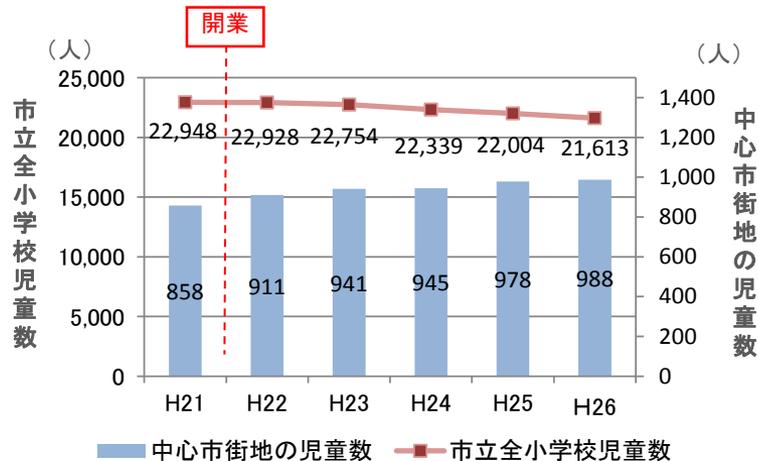
- 富山市の全小学校児童数は減少しているが、**中心市街地の児童数は増加**している。
- 中心部に居住して感じるメリットとして「**公共交通が便利**」と思う人が多い。
- 市内電車や環状線の存在が、中心部への転居の条件やきっかけ**になっている。

【中心部に居住して感じたメリット】

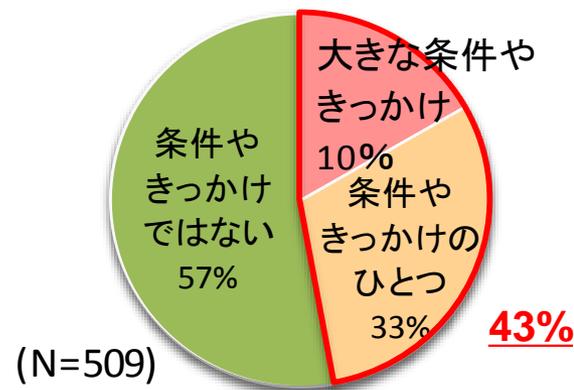


《H25中心市街地新規居住者アンケート調査結果》

【中心市街地の児童数（芝園、中央小学校）の推移】



【市内電車や環状線の存在が転居の条件やきっかけになった割合】



《H25中心市街地新規居住者アンケート調査結果》

# 市内電車環状線化事業の整備効果

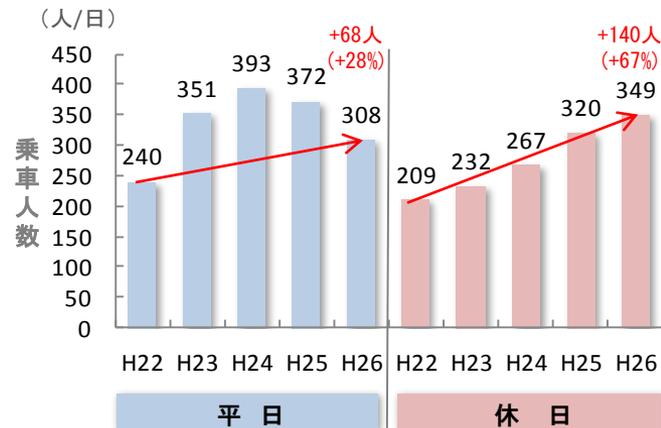


コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

## <ライフスタイル・意識の変化>

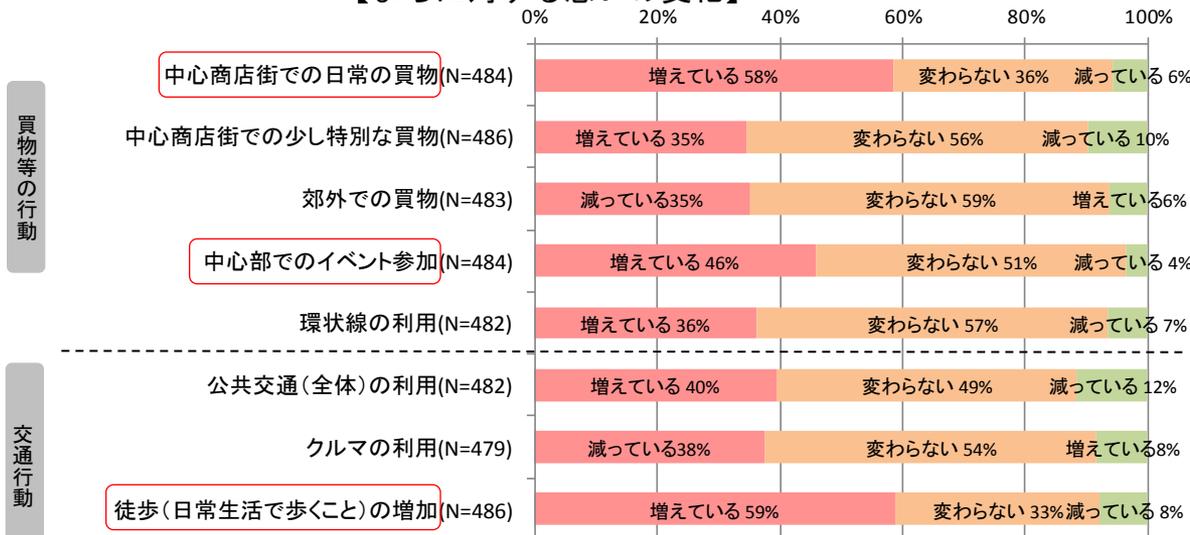
- ・高齢者の環状線利用者は、開業当初と比べて平日は28%、休日は67%増加しており、外出機会の増加につながっている。
- ・まちなか居住者は、「中心商店街での日常の買物」「中心部でのイベント参加」「日常生活で歩くこと」が増加しており、公共交通中心型、中心市街地の賑わいや人との交流創出など、コンパクトシティ型のライフスタイルが進んでいる。

【65歳以上の環状線利用者数の変化】



<<H22~H26 OD 調査結果>>

【まちに対する思いの変化】



<<H25中心市街地新規居住者アンケート調査結果>>

# LRTが走るまちの風景

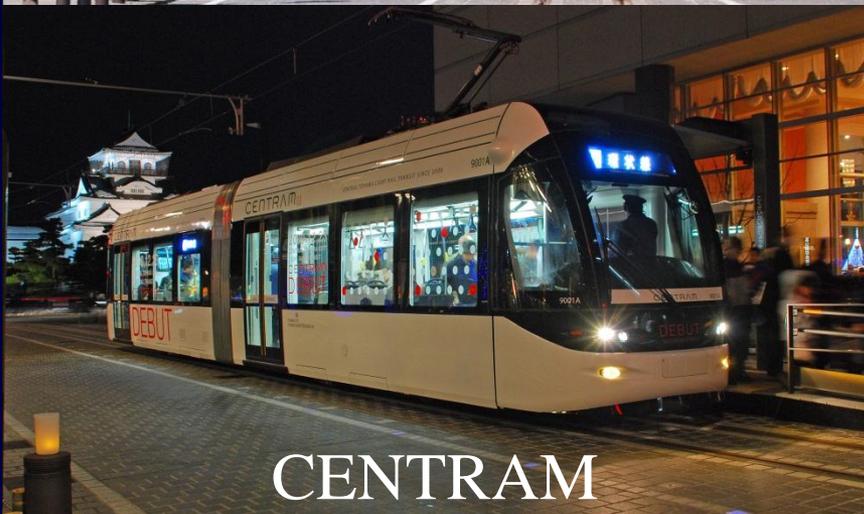


CENTRAM

# 富山市のLRTを活かしたまちづくり



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA



CENTRAM

COMPACT CITY TOYAMA

# 北陸新幹線開業を契機とした路面電車の南北接続事業



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

平成26年度末 北陸新幹線開業

数年後の北陸本線等の高架化を踏まえ、  
南北のLRT(富山ライトレール・市内電車環状線)を接続

- ・2013. 4.26 軌道運送高度化実施計画の認定
- ・2013.12.13 軌道工事施行認可

**世界に類を見ない、新幹線と平面LRTの接続を計画**

# 公共交通の活性化 ～LRTネットワークの形成～

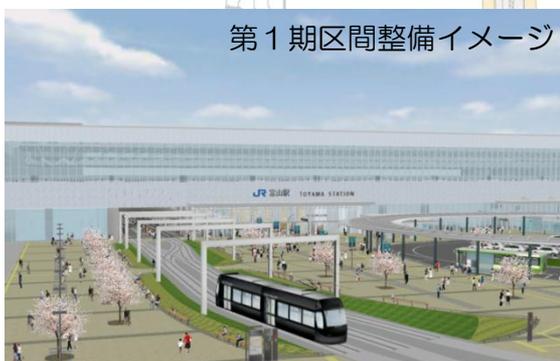
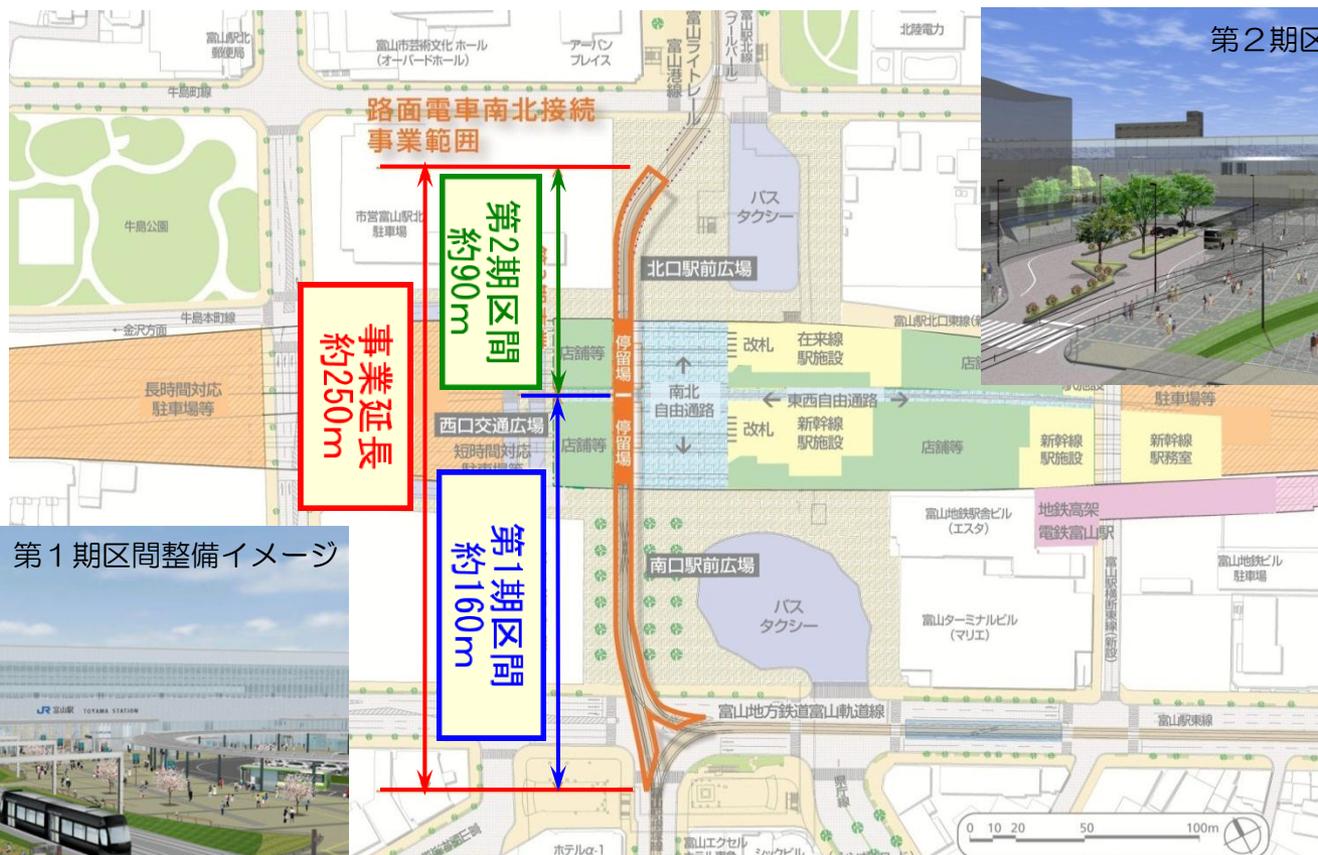
LRTネットワークの形成により、過度に車に依存した  
ライフスタイルを見直し、**歩いて暮らせるまち**を実現



# 路面電車の南北接続事業

富山駅南側の市内電車と北側の富山ライトレールを富山駅高架下で接続し、公共交通の利便性向上と **LRTネットワークの形成を図る**

- ・ **第1期事業**：北陸新幹線開業に合わせて**新幹線高架下へ市内電車を乗入れ**
- ・ **第2期事業**：在来線高架化に合わせて**市内電車と富山ライトレールを接続**



# 路面電車の南北接続事業 ～利便性の高い停留場整備～

## 新幹線高架下(新幹線改札口の前)に路面電車停留場を設置(全国初)



### <高架下停留場>

- ・新幹線改札口との距離はわずか38m  
(目の前に路面電車が見える)
- ・雨や雪を気にせず乗換が可能

⇒乗継利便性の大幅な向上

# 富山市のLRTを活かしたまちづくり



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

## ■ 街路景観を演出するハンギングバスケット、バナーフラッグ等の設置



# グランドプラザの整備

平成19年9月オープン



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

積雪寒冷地の気候にも配慮し、賑わいの核となる全天候型の多目的広場を整備  
年間82.4%(休日:99.1%、平日:74.6%)がイベント等で利用されている。(平成26年度実績)



・事業主体  
富山市

・工事期間  
H18.5～H19.8

・事業費  
約15.2億円

・施設概要  
施設面積:  
約1,400㎡  
(65m×21m)  
天井までの高さ:  
約19m  
大型映像装置:  
約277インチ

# グランドプラザの利用状況



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

▶ エコリンク



◀ 幼稚園児によるフットサル大会



▶ 市役所職員によるバンド演奏



◀ 蚤の市(コヨマルシェ)



# 中心市街地において活発化する民間投資



公共投資が呼び水となり市街地再開発事業など民間投資が活発化

**地域医療と介護の拠点施設 (地域包括ケア体制)**

**総曲輪西地区 市街地再開発組合 商業、宿泊、駐車場、居住 H28完成 (予定)**

**総曲輪三丁目地区 市街地再開発組合 H27.4設立**

**中町(西町北)電停 H25.5.17 開業**

**中央通り地区D北街区 市街地再開発準備組合 H20.4設立**

**ルシーダタワー (125戸) 中央通り地区 居住、商業、業務、駐車場 H24.9完成**

**総曲輪通り商店街**

**中央通り商店街**

**市内電車環状線**

**シティハウス富山西町 (96戸) H19.2完成 堤町通り一丁目地区 商業、分譲住宅**

**プレミスト総曲輪 (52戸) 総曲輪四丁目・旅籠町地区 居住、商業、業務、駐車場 H22.2完成**

**総曲輪FERIO 総曲輪通り南地区 商業 H19.8完成**

**グランドプラザ 広場 H19.8完成**

**西町・総曲輪CUBY 西町・総曲輪地区 駐車場、駐輪場、商業 H17.3完成**

**西町南地区 市街地再開発組合 業務、公益施設、駐車場 H27年完成**

**プレミスト西町 (40戸) 西町プレミア (88戸) 西町東南地区 居住、商業、駐車場 H24.9完成**

# 富山市ガラス美術館・図書館複合施設（平成27年8月22日開館）



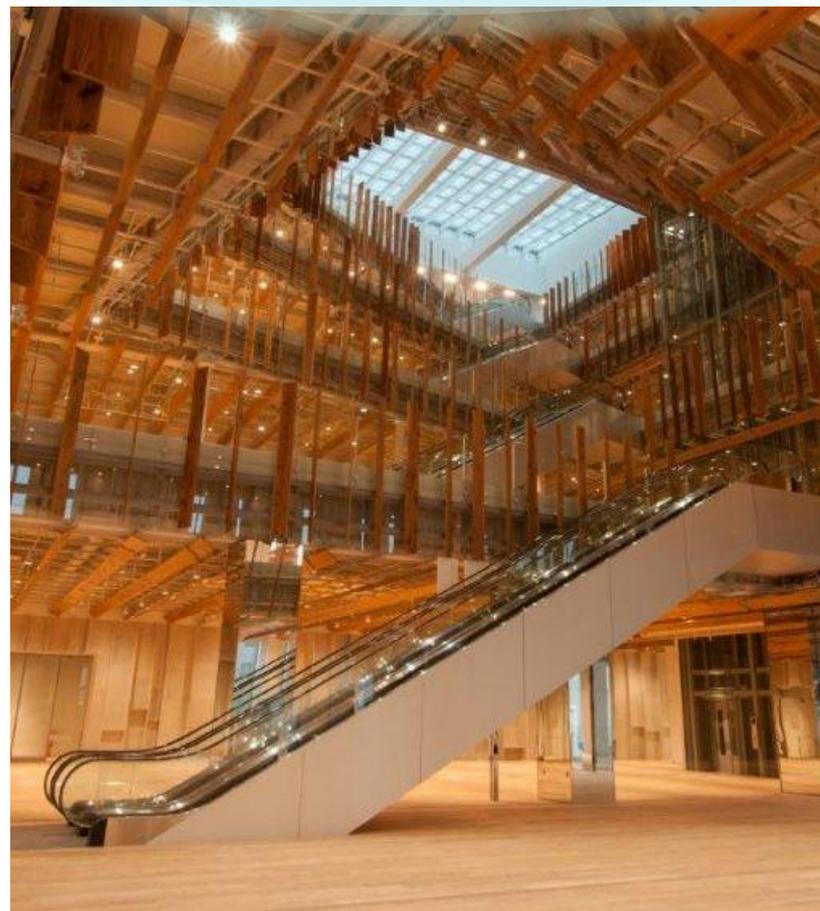
コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

## 中心市街地にガラス美術館と市立図書館等が入る複合施設を整備

繊細な陰影や透明感をもたせた  
街に開かれたファサード



県産の木材等、自然素材を用いることで、  
ぬくもりを感じるスパイラルパサージュ





# まちづくりの未来像

# LRTとともに創る持続性の高いまちづくり

OLRTは、鉄道と路面電車の優れた機能を併せ持つ、デザイン性にも優れた人や環境にやさしい近未来的な交通システム

OLRTは、モビリティ機能に加え、都市の価値・イメージの向上、高齢者の外出機会の創出、ソーシャルキャピタルの醸成に効果があり、まちの活性化に寄与し、都市の持続性を高める交通システム



LRTは、超高齢社会への対応や持続可能なコンパクトなまちづくりを進める上で、最適な交通システム



▲デザイン性に優れたLRT



▲徹底したバリアフリー



▲ソーシャルキャピタルの醸成

# 市内電車が人と街と未来をつなぐ



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA



新幹線時代の玄関にふさわしい、便利な交通サービス



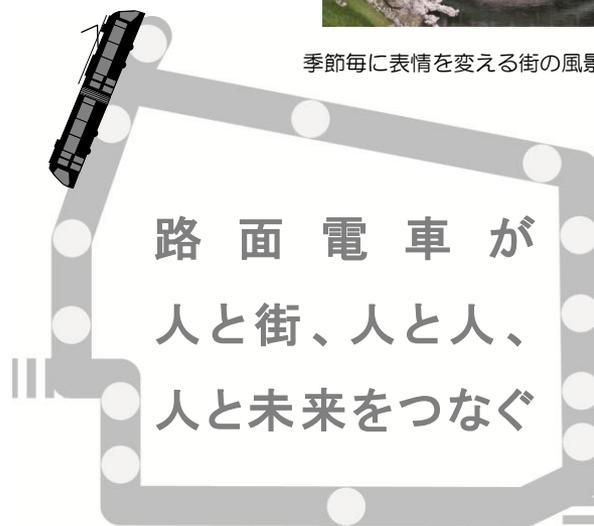
季節毎に表情を変える街の風景を引き立てます



イベント空間としても活躍



AMAZING TOYAMA



路面電車が  
人と街、人と人、  
人と未来をつなぐ



夢と活気を未来へ



街を彩るストリート  
ファニチャー



未来の街を予感させる  
トランジットモールの空間



新しい魅力をまとう  
都心ショッピングストリート



美術館整備により、  
さらに滞在したい都心へ



花で潤うまち